

公共施設

Q 学校のプール及び公園の整備計画は

A 公共施設の最適な配置をする事が重要

光益 町内の各学校のプールにおいては、老朽化によって頻繁に修理・改修をしている。

町民プール建設も含め検討されたか。

教育長 各学校にプールを設置するより共同で利用できる統合したものの方が合理的だと判断している。

令和4年度において、町民プール・民間のスイミングスクールへ委託などを含め資料収集、調査を本格的に進め、方向性を見いだしたい。

光益 今後の町内の公園整備計画

Q 公共施設管理部署の設置の考えは

A 組織機構の研究を進めていく

光益 現在、公共施設は、それぞれ担当の課があり、そこで、運営・管理されている。修理・改修できる部署を設けたらどうか。

町長 施設の整備・修繕・更新などハード面、利用・運営など



昭和 36 年に作られた老朽化した広川中のプール

ソフト面から効果・効率的な管理運営の方法について研究している。



光益 良洋 議員

面はあるのか。地域公園整備への補助は今後

町長 補助事業の情報収集や財

源確保の検討を進めていく。

住民の健康長寿の延伸の観点

からも、各校区に運動公園等の

整備が必要と考えている。

地域公園は、補助制度を設けて、

今年で5年目になる。

来年度より廃止するが、今後

もサポートはしていく。

生理用品

Q 学校トイレに生理用品配備の進捗状況は

A 中学校のトイレに、試験的に配備している

町長 購入補助は考えていない。加齢性難聴は、血管の老化が原因と言われる。食事や生活習慣で悪化を予防することもできる。サロンなどで話題にするなどして、「年だから」とあきらめるのではなく、関心を高めよう、情報発信をする。

購入補助の器聴

Q 加齢性難聴者に補聴器購入助成を

A 予防や関心を高める取り組みをする



江藤美代子 議員

江藤 「65歳を過ぎると二人一人が加齢性難聴である」「難聴は、認知症の最大の危険因子である」という報告がある。しかし、重度・高度の難聴でなければ購入のための公的補助は受けない」という声がある。日常生活、社会生活の質を落とさないためにも、認知症予防のためにも、補聴器購入の補助を求めたい。

学童保育所

Q 施設改善、指導員の待遇改善などの取り組みを

A 指定管理者と協議する

江藤 学童保育所の一人当たりの面積の最低基準を満たしていない施設がある。また、生活の場・遊びの場・静養の場の確保などできていないのではないかと。将来を見通して、施設の改善を検討すべき。コロナ禍の中でも休むことなく開所し、保護者や子どもたちの生活を支えていた。いただいた指導員さんの待遇や配置人数についても改善を求めたい。

町長 将来は少子化で利用者は減少するのではないかとみています。指導員の待遇改善については、指定管理者と話し合いたい。



中学校のトイレに配備された生理用品

※そのほか住宅改修補助制度について質問しました。